

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### ピンチになれば「視野が狭まる」

**岩崎 一郎 (医学博士・脳科学者・国際コミュニケーショントレーニング代表取締役)**

1. ピンチでパニック状態になったり、普段通りに考えられなくなったりした経験は、誰しもあることだろう。あの時、脳はどうなっているのか。脳科学者の岩崎一郎氏によると、多くの脳回線がシャットダウンする「FF状態」にあるという。FFとはFightとFlightの頭文字で、「戦うか、飛んで逃げるか」の二者択一をいう。自分のことだけを考える「エゴ常態だ」。これは、我々の先祖が、生命の危機下で余計な考えを排除し、全神経を生存に集中させて生き抜いてきたからだ。
2. 逆に、ピンチでも周囲を見渡せるように自分をしつければ、脳回路を有効に使い、アイデアを出したり、長期的な視野に立って考えたりすることができるはずだ。ではどうすればいいのか。岩崎氏は、まず良好な人間関係を築くことだという。「安全基地」のような人との信頼関係をつくればエゴから距離をとれる。「感謝する」のも有効だ。周囲に感謝の対象を探すことで視野は広がり、人の幸せを考えることでも、脳は活性化する。
3. 「坐禅も優れた脳のトレーニング法」と岩崎氏は強調する。座ってじっとしている坐禅には「脳のノイズ」を抑える効果があり、高次機能をつかさどる「前頭前野」や集中カススイッチである「島皮質」などを成長させる。

(参考:「日経ビジネス」2020年10月26日号)

## 人事・労務について

### 70歳定年法施行 (2021年4月)

1. 2020年、産業界ではコロナ禍にもかかわらず、じわじわとシニアの囲い込みが始まっている。2021年4月に、企業に対して70歳までの就業機会の確保を努力義務とする「改正高年齢者雇用安定法」(通称:70歳定年法)が施行されるためだ。実質的に私たちは生涯現役社会、定年消滅の日を迎えたとみるべきでしょう。
2. 70歳現役社会、その先にある生涯現役社会を見据えて、雇用制度を抜本的に見直す大手企業も現れた。家電量販店ノジマは全社員を対象に雇用契約の上限年齢を現在の65歳から80歳に引き上げる。上限年齢の引き上げはほかの小売業にも広がりつつある。何歳であっても働ける人は働き続ける。そんなシンプルな社会が目の前に迫っている。

(参考:「週刊東洋経済」:2020年10月17日号)

## デジタル化について

### 大臣、議員への説明は紙が前提

1. 国家公務員への調査では「議員とのやりとりがいまだにFAX」という回答が86.1%も占め、パソコンで打ち込んだ文書を送信側が出力してFAXし、受信側が再度システムへ入力するなどの慣習が続いているという。また、国会や議員への対応を行う公務員のうち8割以上が「議員の説明が電話やオンラインに移行せず対面のままだった」と回答している。
2. テレワークが基本にもかかわらず「国会議員へのレク(説明)のためだけに出勤せざるを得なかった」「長時間、対面・3密の環境で説明を求められた」という具体例も報告された。さらに、約4割が月100時間超の残業を強いられる中、事務のデジタル化で効率化しようにも、大臣、議員などが関係する案件は紙での説明が前提など、省庁特有の「ルール、慣習」がデジタル化を阻害しているという。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年10月3日号)

## 古典に学ぶ

### 余は儒道に志す

(解説) 人格の修養をする方法工夫は種々あろう。あるいは仏教に信仰を求めるともよからう。あるいは「キリスト」教に信念を得るも一方法であろうが、余は青年時代から儒道に志し、孔孟の教は余が一生を貫いての指導者であっただけに、大なる権威ある人格養成法だと信じている。

(参考: 渡沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)